

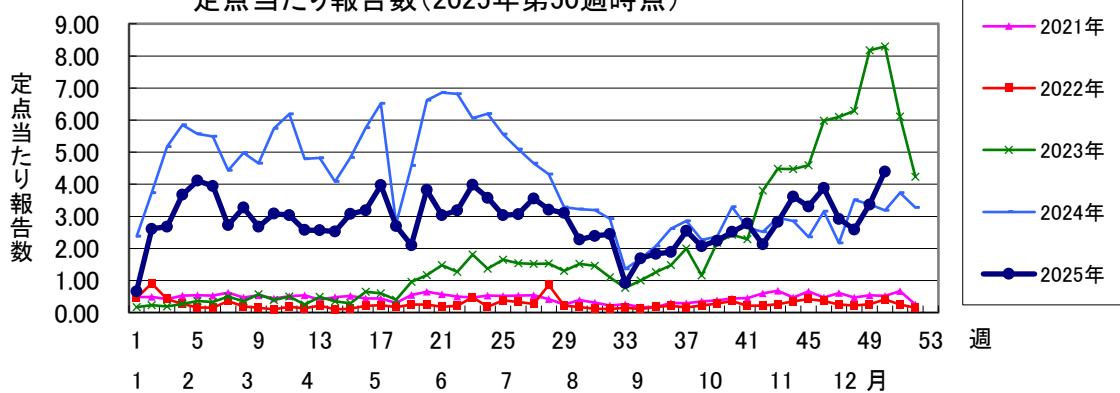
## 【今週の注目疾患】

### 《A群溶血性レンサ球菌咽頭炎》

2025年第50週における県内の小児科定点医療機関からの定点当たり報告数は、2週連続で増加し、4.40（人）となった。直近5年の同時期（第50週時点）においては2023年に次ぐ水準にあり（図）、引き続き発生動向に注意が必要である。

保健所管内別では、長生（10.67）、習志野（8.56）、松戸（7.00）が多かった。

図：2021年から2025年の県内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の  
定点当たり報告数（2025年第50週時点）



潜伏期間は2日から5日であり、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴う。通常発熱は3日から5日以内に下がり、主症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患であるが、猩紅熱や急性糸球体腎炎に発展する場合がある。

いずれの年齢でも起こり得るが、幼児期から学童期の小児に多い。

通常、患者との接触を介して伝播するため、人ととの接觸の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校、保育施設などの集団での感染も多い。

予防としては、以下のことが重要である<sup>1,2)</sup>。

- ① 患者との濃厚接觸を避けるため、施設等では職員を含め体調不良者は出勤・登園を控える
- ② 手洗いや手指消毒、咳エチケット（咳やくしゃみを発する者が周囲への感染予防のためにマスクを着用すること）を励行する

### ■参考・引用

1) 国立健康危機管理研究機構：A群溶血性レンサ球菌感染症

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/agun/index.html>

2) 国立健康危機管理研究機構：IDWR 2023年第43号<注目すべき感染症> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/rapid/2023/43/article/group-a-streptococcus-m/index.html>

## 【Topics】

### 《年末年始に海外へ渡航される皆様へ》

海外においては、国内では見られない感染症が流行していることがあり、海外滞在中に感染する可能性があります。海外へ渡航する際には、事前に渡航先における感染症の流行状況、現地滞在中の注意点、海外渡航に際し推奨されている予防接種をご確認ください。

また、感染症には、潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中や帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その場合は、医療機関に事前に電話連絡して海外渡航歴があることを伝えた上で受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴等についてお伝えください<sup>1,2)</sup>。

なお、2025年に県内医療機関から届出のあった感染症のうち、推定される感染地域が海外のものは次のとおりです。

表 2025年に県内医療機関から届出のあった海外で感染した可能性のある感染症（2025年第50週時点）

| 感染症名        | 全届出数 | うち推定感染地域に海外を含む届出数* | 記載のあった海外の地域     |
|-------------|------|--------------------|-----------------|
| 結核          | 794  | 127                | アジア、中南米、中東、アフリカ |
| 腸管出血性大腸菌感染症 | 196  | 20                 | アジア、欧州          |
| 腸チフス        | 4    | 2                  | アジア             |
| パラチフス       | 1    | 1                  | アジア             |
| E型肝炎        | 42   | 1                  | アジア             |
| A型肝炎        | 7    | 2                  | アジア、中東          |
| コクシジオイデス症   | 5    | 5                  | 北米              |
| ジカウイルス感染症   | 1    | 1                  | アジア             |
| チクングニア熱     | 4    | 4                  | アジア             |
| デング熱        | 6    | 6                  | アジア             |
| マラリア        | 1    | 1                  | アフリカ            |
| レプトスピラ症     | 1    | 1                  | アジア             |
| アメーバ赤痢      | 21   | 1                  | アジア             |
| 急性脳炎        | 69   | 2                  | アジア             |
| 後天性免疫不全症候群  | 36   | 3                  | アジア             |
| 侵襲性髄膜炎菌感染症  | 3    | 1                  | アジア             |
| 侵襲性肺炎球菌感染症  | 156  | 1                  | 北米              |
| 水痘（入院例に限る。） | 27   | 1                  | アジア             |
| 梅毒          | 428  | 4                  | アジア             |
| 百日咳         | 3553 | 3                  | アジア、北米          |
| 麻疹          | 22   | 4                  | アジア             |

\*推定感染地域に国内及び国外の両方の記載がある届出を含む

### ■参考・引用

1)厚生労働省：海外へ渡航される皆様へ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou18/index\\_00003.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html)

2)厚生労働省検疫所 FORTH：海外へ渡航される皆さまへ！

[https://www.forth.go.jp/news/20220722\\_00001.html](https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html)